



なみひら よしのり
波平 宜敬 {工学博士, (社)電子情報通信学会フェロー}

国立大学法人 琉球大学工学部 教授, 島嶼防災研究センター長
中国 大連工業大学 終身客員教授
ベトナム ハノイ科学技術大学 終身客員教授

略歴:

昭 48:琉球大学(琉大)・理工・電気卒, 昭 51:東北大大学院修士課程了, 昭 54:同大学院博士課程了(工博). 同年, KDD(株)研究所入所. 以来, 光ファイバの最適設計, 光ファイバの伝送特性 {水素による損失増加解明, 偏光特性, 波長分散, 偏波モード分散(PMD), 非線形定数(n_2/A_{eff})} 測定法に関する研究開発に従事.

昭 57/58:英国電気学会(IEE)最優秀論文賞(Electronics Letters Premium), 昭 60: KDD(株)社長表彰, 平 2 & 4:オプトエレクトロニクス国際学会(OEC'90 & OEC'92) 最優秀論文賞, 平 6: 国際ワイヤ&ケーブルシンポジウム(IWCS'93) 最優秀論文賞, 平 19:琉大 工学部教育貢献者表彰, 平 20:中国 大連工業大学(大連工大)栄誉賞, 平 20:大連工大 終身客員教授, H20:電子情報通信学会フェロー, 平 20:琉大 工学部研究貢献者表彰, 平 21: 沖縄情報通信懇談会々長賞, 平 23: 無線通信と光通信の国際会議 (FWOCNT2011) 最優秀論文賞, 平 24 電波の日 (6/1) 総務省沖縄総合通信事務所々長 個人表彰, H24: バングラデシュ国際会議 ICECTE2012 基調講演賞, 平 25: 光&照明賞(Light & Lighting) @中国 大連工大, 平 25: ベトナム ハノイ科学技術大学 終身客員教授, 平 26:琉大 工学部教育貢献者表彰受賞など.

昭 60~平 14:国際電気通信連合 {ITU-T(CCITT)} の光ファイバ伝送システム関連(SG15)の国際標準化委員. 平元~4:「光海底ケーブルシステム」の Rapporteur, 平 7~12: ITU-T 勧告 G.654(CSF: Cut-off Shifted Fibre)の Editor, 平 5~14: ITU-T PMD & (n_2/A_{eff}) Round-Robin Measurement Coordinator, 平 10~12: ITU-T L-Band Correspondents Group Leader, 平 13: KDDI (株) 研究開発本部 次長, 平 13: (株) 応用光電研究室 研究開発部長, 平 13: ITU-T SG15 会合 総務省 参与, 平 13~現在:琉大・工学部・電気電子工学科 教授, 平 15~現在: NPO 法人「高度情報通信推進協議会」理事, 平 16~現在: 総務省「戦略的情報通信研究開発推進制度」専門評価委員, 平 21~23: NEDO(経済産業省) 国家大型研究プロジェクト中間評価委員, 平 21~現在: NPO 法人「日本フォトニクス推進協議会」理事, 平 17&25:琉大・工学部・電気電子工学科長, 平 25~現在: 琉大 島嶼防災研究センター長, 平 26~現在: NEDO 国家大型研究プロジェクト中間評価委員など. 著書:「数理情報辞典」(朝倉書店),「光スライド」光」(森北出版社),「光海底ケーブル」(KEC 社),「DWDM 光測定技術」(オプトロニクス社),「光測定器ガイド」(オプトロニクス社),「光技術総合辞典」(オプトロニクス社), “Photonic Crystal Fibers for Optical Coherence Tomography Systems,” (LAP LAMBERT Academic Publishing GmbH & Co. KG Heinrich-Böcking-Str. 6-8 66121, Saarbrücken, Germany), ISBN: 978-3-659-40015-5, Published on 30-08- 2013.など.

電子情報通信学会, 電気学会, 応用物理学会, IEEE(米国電気通信学会), OSA(米国光学学会) 会員など.

(所属部局・職名) 島嶼防災研究センター長 (工学部・教授)
(氏名) 波平 宜敬
(学位及び現在の専門) 工学博士(東北大学 大学院) / 光伝送工学, 光計測工学

研究・教育歴と主な研究成果

- 1) 昭和 54 年 4 月～平成 12 年 8 月：国際電信電話(KDD/KDDI) ㈱研究所・主幹研究員
光ファイバ及び光海底ケーブルの伝送特性に関する研究開発に従事
- 2) 昭和 60～平成 15 年：国際電気通信連合-電気通信標準化部門 (ITU-T) SG15/WP4 日本代表
「光海底ケーブルシステム」課題のスペシャルラポータ(議長)など務めた。
ITU-TG.654 極低損失光ファイバ(波平ファイバ)などの国際標準化に貢献した。
- 3) 平成 12 年 9 月～平成 13 年 3 月：㈱応用光電研究室 研究開発部・部長
偏波モード分散 (PMD) 測定法の国際標準化に貢献した。
- 4) 平成 12 年 9 月～平成 13 年 3 月：KDDI ㈱研究開発本部・次長 (兼業)
ITU-T の光ファイバ PMD 測定及び非線形定数測定ラウンドロビン測定コーディネータを務めた。
ITU-TG.650 の the Namihira Relation(波平近似式)等の国際標準化に貢献。
- 5) 平成 13 年 4 月～現在に至る：琉球大学工学部 電気電子工学科・教授
フォトニック結晶ファイバの最適設計に関する研究等を行っている。
- 6) 平成 20 年 7 月～現在に至る：中国 大連工業大学・終身客員教授
- 7) 平成 25 年 4 月～現在に至る：琉球大学 島嶼防災研究センター長
- 8) 平成 25 年 11 月～現在に至る：ベトナム ハノイ科学技術大学・終身客員教授

参考

1) 受賞状況等

- 昭和 58 年：英国電気学会{IEE(IET)} Electronics Letters Premium 論文賞。
昭和 60 年：KDD 社長表彰。
平成 2 年：第 3 回オプトエレクトロニクス国際学会(OEC'90)最優秀論文賞
平成 4 年：第 4 回オプトエレクトロニクス国際学会(OEC'92)最優秀論文賞
平成 6 年：国際ワイヤ&ケーブルシンポジウム (IWCS'93)最優秀論文賞
平成 19 年：工学部教育貢献者表彰
平成 20 年：工学部研究貢献者表彰
平成 20 年：中国 大連工業大学 荣誉賞 (感謝状)
平成 20 年：電子情報通信学会フェロー (IEICE Fellow)
平成 21 年：沖縄情報通信懇談会々々長賞
平成 23 年：無線通信と光通信の国際会議 (FWOCNT2011) 最優秀論文賞
平成 24 年：電波の日 (6/1) 「総務省沖縄総合通信事務所々々長 個人表彰」
平成 24 年：国際会議 ICECTE2012 「基調講演賞」 @ Rajshahi RUET, Bangladesh (バングラデシュ)
平成 25 年：“Light & Lighting (光&照明賞)” 受賞 @中国 大連工業大学
平成 26 年：工学部教育貢献者表彰

2) 外部資金状況等

- ①平成 13 年度沖縄産学官共同研究推進事業 (総括研究代表者：波平宜敬)
課題：「光ファイバ端面加工技術の開発」総額 47,000 千円
- ②平成 14&15 年度経済産業省の地域新生コンソーシアム 研究開発事業 (総括研究代表者：波平宜敬)
課題：「WDM 光通信用偏波面保存形光デバイスの開発」総額約 100,000 千円
- ③(独) 科学技術振興機構 (JST) シーズ発掘試験「スーパーコンティニューム光源用フォトニック結晶ファイバの開発」、研究代表：波平宜敬 (H18 年度) & 「医療の超広帯域光源用高非線形フォトニック結晶ファイバの最適設計」研究代表：波平宜敬 (H21 年度)
- ④日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費補助金 (特別研究員制度費), 研究代表：波平宜敬 (H21, H22 & H25 年度)
JSPS Post Doctoral Fellowship {(Dr. Feroza Begum (2009), Dr. S. M. Abdur Razzak (2010) & Dr. Md. Anwar Hossain (2013))}